

第5章 環境教育

第1節 環境教育および啓発事業の推進	104
1. 環境学習センターの取り組み	104
2. 環境保全課の取り組み	110

第1節 環境教育および啓発事業の推進

1. 環境学習センターの取り組み

四日市市環境学習センターは、平成8年8月1日、子どもから大人までを対象に、日常生活と環境の関わりについての関心と理解を深め、環境に配慮した行動のとれる市民の育成を目的に開館した。市民が自主的に、楽しく環境の学習ができる拠点施設となることを目指して、平成16年度は次のような事業を行った。

1. 普及啓発事業

(1) かんきょう探検

身近な自然に対する関心を深め、環境保全意識が高まることを目的に、小・中学生とその保護者を対象として2回実施した。

実施日	場 所
5 / 8 (土)	高松干潟、古城川
7 / 10 (土)	少年自然の家、三重県民の森

(2) 動く自然教室

身近な自然に対する関心を深め、環境保全意識が高まることを目的に、市民を対象にして2回実施した。

実施日	場 所
5 / 22 (土)	鈴鹿川派川、少年自然の家など
10 / 23 (土)	堂ヶ山町神明社(大樟)、御池沼沢など

(3) 四日市の身近な自然調べ

身近な生き物に目を向けることにより、自然とのふれ合いを楽しむとともに、自然への関心を深めてもらうため「探す・採る・調べる」などの自然体験ができる「四日市の身近な自然調べ」を5月から2月に月1回実施した。

(4) 夏休み自由研究相談室

小・中学生を対象に、「夏休み自由研究の仕方相談室」(7月24日(土))、「夏休み自由研究のまとめ方相談室」(8月21日(土))を、植物、昆虫、地学、ゴミ・リサイクルなどの分野ごとに、四日市自然保護推進委員会委員の協力を得て実施した。

(5) 子ども地球環境塾

小学校高学年を対象に、環境問題のグローバルな考え方や取り組みについての理解を深めてもらうことを目的に、国際環境技術移転研究センターにおいて、海外研修生と共に環境学習を2回実施した。

(6) エコ工作体験教室

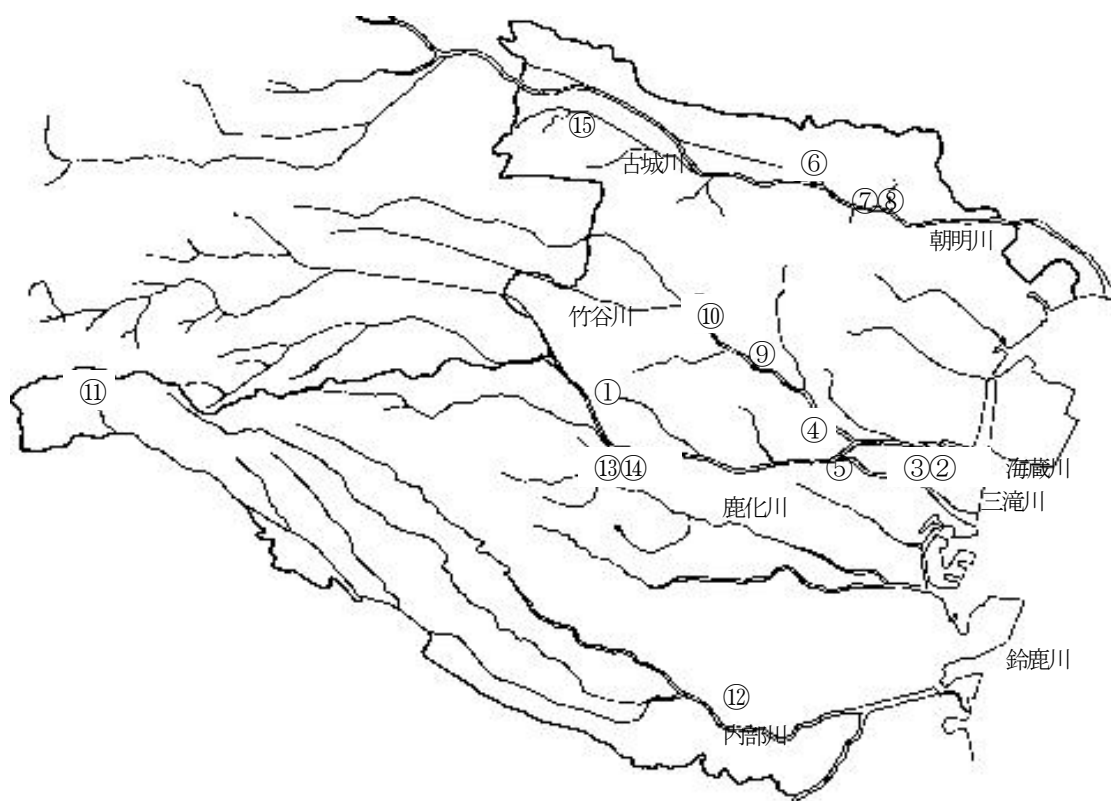
開催日	内 容
11/27 (土)	セイタカアワダチソウによるログハウス作り
12/4 (土)	布ぞうり作り
3/12 (土)	布ぞうり作り

(7) 水生生物調査

水生生物を調べることによって河川の水質判定を行うとともに、自然環境保護活動の普及・啓発をはかるため、水生生物調査指導員の協力を得て、三滝川、内部川、海蔵川、朝明川等において水生生物調査を実施した。

○水生生物調査結果

- ・調査地点



調査結果

調査地点番号	河川名	調査地点名	調査年月日	時間	天候	水温(℃)	川幅(m)	採取場所	水深(cm)	流速	川底の状態	水のごり	水のおい
①	三滝川	高角橋上流	6/5	10:00	晴	20.0	14	左岸	20	普通	ゴロ石、コケ	無	無
②	三滝川	三滝橋下流	6/23	10:00	晴	22.0	40	右岸	30	速い	ゴロ石、砂、小石	無	無
③	三滝川	三滝橋付近	10/13	10:00	晴	19.0	35	左岸	30	普通	ゴロ石、砂、小石	無	無
④	三滝川	野田橋下流	9/25	13:00	曇	23.0	30	左右岸	40	速い	ゴロ石、砂、小石	無	無
⑤	三滝川	堀木橋上流	9/25	15:00	曇	22.0	25	左右岸	40	速い	ゴロ石、砂、小石	無	無
⑥	朝明川	里橋上流	6/29	10:00	晴	23.0	25	右岸	30	普通	砂、小石	無	無
⑦	朝明川	山分橋上流	6/29	10:00	晴	23.0	15	左岸	15	普通	砂、小石	少	無
⑧	朝明川	山分橋付近	6/29	10:00	晴	24.0	23	左岸	15	普通	砂、小石	少	無
⑨	海蔵川	四ツ谷橋上流	8/9	10:00	晴	22.0	20	左岸	30	普通	ゴロ石、砂、小石	無	無
⑩	海蔵川	御館橋付近	10/16	14:00	晴	19.0	30	全体	30	遅い	砂、小石	無	無
⑪	内部川	瀬戸ダム上流	7/7	10:00	晴	25.0	40	全体	10	遅い	ゴロ石	無	無
⑫	内部川	矢矧橋上流	8/8	11:00	晴	24.0	20	左岸	30	速い	ゴロ石、泥、小石	少	無
⑬	鹿化川	2号階段付近	7/18	10:00	晴	24.0	3	全体	20	普通	小石、砂	少	無
⑭	鹿化川	2号階段付近	10/3	10:00	雨	20.0	6	全体	40	普通	小石、砂	少	無
⑮	古城川	馬橋付近	10/31	14:00	曇	17.0	8	全体	30	普通	砂、泥、小石	少	無

調査地点番号	河川名	調査地点名	指標生物の出現状況																	
			I									II								
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
アミカ	ウズムシ	カワゲラ	サワガニ	ナガレトビケラ	ヒラタカゲロウ	ブユ	ヘビトンボ	ヤマトビケラ	イシマキガイ	オオシマトビケラ	カワニナ	ゲンジボタル	コオニヤンマ	コガタシマトビケラ	スジエビ	ヒラタドROMシ	ヤマトシジミ			
①	三滝川	高角橋上流										○		○	○	○	●			
②	三滝川	三滝橋下流								●				○		●	○			
③	三滝川	三滝橋付近						○		●				○		●	○	○		
④	三滝川	野田橋下流								○		○		●		●				
⑤	三滝川	堀木橋上流								○		○		●		●				
⑥	朝明川	里橋上流						○				○	○	○		●				
⑦	朝明川	山分橋上流			○		○					○		○	○	●				
⑧	朝明川	山分橋付近			○							○		○	○	●				
⑨	海蔵川	四ツ谷橋上流										●		○		○	●			
⑩	海蔵川	御館橋付近						○				●	○	○		○	●			
⑪	内部川	瀬戸ダム上流		○	●		●	○		○				○						
⑫	内部川	矢矧橋上流											○		○	○	○	●		
⑬	鹿化川	2号階段付近				○							●			○				
⑭	鹿化川	2号階段付近											●		○					
⑮	古城川	馬橋付近						○					●		●		○			

注：○は出現した生物。●はそのうち数が多かった上位から2番目まで。

調査地点番号	河川名	調査地点名	指標生物の出現状況										水質階級の判定		
			Ⅲ					Ⅳ							
			19	20	21	22	23	24	25	26	27	28		29	30
			イソコツブムシ	タイコウチ	タニシ	ニホンドロソコエビ	ヒル	ミズカマキリ	ミズムシ	アメリカザリガニ	エラミネズ	サカマキガイ		セスジユスリカ	チョウバエ
①	三滝川	高角橋上流							○		●		○	Ⅱ	
②	三滝川	三滝橋下流				○	○		○			○		Ⅱ	
③	三滝川	三滝橋付近							○					Ⅱ	
④	三滝川	野田橋下流					○		●		○			Ⅱ	
⑤	三滝川	堀木橋上流					○		●		○			Ⅱ	
⑥	朝明川	里橋上流					○	○	●					Ⅱ	
⑦	朝明川	山分橋上流		○			●		○	○				Ⅱ	
⑧	朝明川	山分橋付近		○			●		○	○				Ⅱ	
⑨	海蔵川	四ツ谷橋上流		○			○		●		○			Ⅱ	
⑩	海蔵川	御館橋付近		○					○					Ⅱ	
⑪	内部川	瀬戸ダム上流						○	○					Ⅰ	
⑫	内部川	矢矧橋上流			○		○		○		●			Ⅱ	
⑬	鹿化川	2号階段付近					○		●					Ⅱ	
⑭	鹿化川	2号階段付近							●					Ⅱ	
⑮	古城川	馬橋付近		○					○					Ⅱ	

注：○は出現した生物。●はそのうち数が多かった上位から2番目まで。

2. 人材育成事業

地域における市民の自主的な環境学習、環境保全活動のリーダーとして活躍できる人材の発掘と育成を目的として「環境リーダー養成講座」基礎編・応用編、および市内の小中学校教員を対象とした教員編を開催した。

また、今までの講座修了生を対象とした、フォローアップ研修会を2回開催した。

① 環境リーダー養成講座（基礎編）

実施日	内 容
7/10 (土)	環境関連施設の見学（四日市市北部清掃工場） 四日市の身近な自然観察
7/17 (土)	ごみ・リサイクルについて（講義） 経済活動、社会システムと環境について(1) 「ガスエネルギー利用の現状と企業の環境に対する取り組み」 （講義）
7/31 (土)	四日市公害の歴史と環境の現状について（講義） 参加者のつながりをどう作るか(実技) 経済活動、社会システムと環境について(2) 「省エネルギーを通して省エネルギーと省資源を考える」(講義)

② 環境リーダー養成講座（応用編）

実施日	内 容
8/28 (土)	地球環境問題について(1) 「地域社会から始まる持続可能な社会への変革」(講義) 地球環境問題について(2) 「思いは地球規模で行動は足元から」
9/4 (土)	化学物質について 「化学物質と健康」(講義) シュミレーション・ディベート(実技)
9/11 (土)	環境活動団体の活動状況(講義・紹介) 環境活動プログラム作成(1) 環境イベントの作り方(講義・実技)
8/18 (土)	環境活動プログラム作成(2) 自分の地域でイベントを作ろう(討議・実技) まとめ(発表・討議)

③ 環境リーダー養成講座（教員編） （生活環境）

実施日	内 容
7/28 (水)	ごみ・リサイクルについて(講義) 買い物ゲーム 「ごみ処理費をわかりやすく学ぶ」
7/29 (木)	ごみ処理施設の見学 「三重県環境保全事業団 廃棄物処理センター溶融処理施設」 「三重県企業庁 三重ごみ固形燃料発電所」

(自然環境)

実施日	内 容
8 / 4 (水)	里山保全等を通して環境教育の進め方を学ぶ(講義)
8 / 5 (木)	自然観察、標本作り等の体験学習(少年自然の家)

④ 環境リーダーフォローアップ研修会

実施日	内 容
11 / 13 (土)	「多賀の自然と文化の館」 「滋賀県立水環境科学館」の見学
2 / 26 (土)	「名古屋市立東山動物園(世界のメダカ館)」 「サンヨー(株)太陽光発電施設(ソーラーアーク)、太陽電池科学館(ソーラーラボ)」の見学

3. 交流・活動支援事業

(1) こどもエコクラブ支援事業

市内に70クラブの1,345人が登録した。また、交流会も兼ねて8月7日に「こどもエコまつり」を開催した。

4. 情報提供事業

(1) 環境誌『エコステージ』の発行

環境リーダー養成講座受講生の有志による編集委員会の協力を得て、環境誌を発行した。

(2) 『かみきょうニュース』の発行

隔月発行し、環境教育の実践の紹介や環境保全課、環境学習センターのPRに努めた。

5. その他

(1) 「総合的な学習の時間」等に対する支援事業

小・中学校からの要請を受けて、環境に関する体験学習や特別授業を行った。

2. 環境保全課の取り組み

1. 環境月間行事

(1) 『四日市のかみきょう』の作成

四日市の公害の歴史や現状について正しく知り、考えるための手書として、平成13年度までA4版16ページの小冊子を作成していたが、ホームページに掲載している。

(2) 『広報よっかいち』への特集ページの掲載

『広報よっかいち』6月上旬号に、『第二期四日市市環境画市民種編の特集』を掲載し告知した。また、太陽光発電システム設置費補助について募集を行なった。